

第2回産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年2月7日(金) 午前10時0分
- 2 閉会日時 令和2年2月7日(金) 午前11時29分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 佐々木雄司君 6番 保田 守君 8番 治徳 義明君
10番 行本 恭庸君 14番 佐藤 武文君 18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 副市長 前田 正之君
副市長 川島 明昌君 産業振興部長 有馬 唯常君
建設事業部長 杉原 洋二君 赤坂支所長 土井 常男君
熊山支所長 矢部 恭英君 吉井支所長 是松 誠君
農林課長 矢部 勉君 商工観光課長 大崎 文裕君
地域整備推進室長 菊地 良典君 建設課長 福圓 章浩君
赤坂支所産業建設課長 森本 一也君 熊山支所産業建設課長 光田 尚人君
吉井支所産業建設課長 中務 浩行君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
・令和2年3月議会提出予定議案について
・その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（佐々木雄司君） おはようございます。

ただいまから第2回産業建設常任委員会を開会いたします。

初めに、友實市長より御挨拶をいただきたいと思ひます。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、第2回の産業建設常任委員会をお開きいただきまして、ありがとうございます。早いもので、令和2年になってもう1月が終わりまして、いよいよ年度の終わりを迎えているところでございます。皆様、御多忙のところでございます。そういった中での開会をいただきまして、ありがとうございます。

本日の委員会への協議案件でございますけれども、令和元年度の事業の進捗状況について説明をさせていただきます。また、その他の案件としまして、主に令和2年3月議会への提出予定の議題を御協議をさせていただこうということでございます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入りたいと思ひます。

1番目、事業の進捗状況につきまして産業振興部から御説明をいただきたいと思ひます。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） それでは、産業振興部関係の事業の進捗状況につきまして、農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より御説明申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部の資料をごらんください。

まず、1ページでございます。

農林課におきます事業の進捗状況でございますが、(1)をごらんください。

1月31日に有害鳥獣対策セミナーをいきいき交流センターで開催しております。当日は、農業者のつどいと同時開催でございまして、200名の方にお越しいただきました。講演では鳥獣の習性の紹介や被害対策の有効な方法などの説明、実演としてわなや柵等の説明も行われました。当日の状況につきましては、ごらんの写真のとおりでございます。屋内で講演が行われまして、実践セミナーは屋外でわなのかけ方とかそういったものが行われました。

それから、その下の(2)をごらんください。

社員食堂を活用した赤磐市農産物・特産品PR・販路拡大事業についてでございますけれども、2月にごらんのような内容によりまして、大阪のヤンマー本社ビル内の社員食堂におきまして実施の予定でございます。今回はイチゴの販売等を予定しておりますけれども、年間を通して本市の農産物等の魅力や赤磐市をPRすることによりまして生産者と消費者との交流を図りまして、赤磐市への誘客や消費拡大につなげることを目的として実施しております。2017年度から取り組んでおる事業でございますけれども、イベントとしても定着しておりまして、毎回開催の要望もいただいております、継続開催におけます効果等も十分見られておる事業でございます。

事業の進捗においては以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは引き続きまして、商工観光課のほうから御説明を申し上げます。

産業振興部資料の6ページのほうをお願いいたします。

1、事業の進捗状況について。(1)自分らしく働くための「スキルアップ」講座についてでございます。

こちらのほうにおきましては、1月の常任委員会で御案内しておりましたとおり、結婚や育児で離職し、再就職を希望する女性を対象に、就職する上で必要なスキル等の学習機会を提供することで希望する形での就職につなげる支援を目的に、1月下旬から2月上旬の間、合計6回開催いたしております。延べ55名の参加がありました。参加者からは、ライフプラン作成、時間活用術、コミュニケーションのとり方など大変参考になったとの御意見をいただいております。当日の様子を添付しておりますので、御確認いただけたらと思います。

続きまして、(2)赤磐市インバウンドセミナーについてでございます。

このセミナーに関しましても、1月の常任委員会のほうで御案内させていただいております。増加傾向にあるアジア圏からの訪日外国人をターゲットといたしまして、赤磐市への誘客、滞在、周遊につなげ、地域の活性化と魅力ある観光地づくりを目指すことを目的といたしまして、令和2年1月24日に桜が丘いきいき交流センターで開催いたしております。当日は、37名の参加がありました。参加者からは、ブランディングの大切さ、情報発信の大切さなどいろいろ勉強になったとの御意見をいただいております。当日の様子を資料7ページのほうに添付しておりますので、御確認いただけたらと思います。

続きまして、資料の7ページ、(3)錯覚アート体験教室についてでございます。

熊山英国庭園のさらなる集客また新たな客層を呼び込むことを目的に、錯覚アートの展示を3月2日から行いまして、錯覚アートの作者であります明治大学研究特別教授、杉原厚吉先生をお招きいたしまして、3月8日に錯覚アート体験教室を開催する予定としております。資料

の9ページにチラシを添付させていただいておりますので、後ほど御確認いただけたらと思います。また、本日委員会室入り口の付近に錯覚アートの参考例それから杉原先生の作品集を展示しておりますので、後ほど御確認いただけたらと思います。

以上で説明を終わります。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

産業振興部の説明が終わったところでございます。

質疑のほうは、いつものように課ごとに行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、農林課の所管部分に関しましての御質疑ございましたら、よろしく願いいたします。

ございませんか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） じゃあ、ないようですので、続きまして商工観光課のほうに行かせていただきたいと思います。

商工観光課所管部分で御質疑ございましたら、委員の皆様、よろしく願いいたします。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 商工観光の6ページの2番のところの赤磐市のインバウンドセミナーのことについてなんですが、その中で講師の先生が話をされた中で大変重要だなんて思ったことがあります。というのが中国語のたしかパンフレットをうちはつくってあったと思うんですけど、その話の中で、中国大陸から岡山に観光に来られてる方の数に比べて、実際にこの岡山を訪ねられてる人たちっていうのは台湾、香港関係の人で文字が違うんだと、同じ中国語で。その文字を変えることだけでインターネット等の検索をしたときにヒットするその量が全く違って、お客さんが来ると。それも、岡山に来てる台湾とかそれから香港の方が半分をちょっと切るぐらい、四十五、六%だったかな、ぐらいの方が岡山を訪ねられてる外国人だと。だから、そういうところをやらないとだめですということと、そうすれば相当人が来られるんじゃないかなあとと言われておったので、そのパンフレットの関係は今後どういうふうなことで考えていかれるのかということをお聞きをしたいと思います。

それから、実際にインバウンドでどれくらい本当に、例えば今この周りへ赤磐に人が来てもらって何か、要はお金を使ってもらおうというようなことが一番メインで呼ぶわけでしょうけども、その目標的なものと。

それから、もう1つその中で言われたのが、あそこの桃のガスタンク、これについては相当何かインパクトがあって、たったあれを紹介するだけでもお客さんは相当来ると、あんなものでも来るんですよというような言い方をされてたので、赤磐市の魅力発信を今後どういった形

でインバウンドの、外国から来られる人たちにしていくのか、お聞かせいただければと思います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 金谷委員の御質問でございますが、まずパンフレットなんです、パンフレットについては中国語簡体字のほうでのパンフレットの作成は交付金なんかを使いましてやっているところでございます。また、台湾、香港なんかの字体に、繁体字になるんですが、こちらにつきましてはインバウンドセミナーでも講師に来ていただいたラーチャーゴのほうへ、赤磐市の繁体字を使ったPRのウェブサイトへの赤磐市への情報掲載を行っていききたいというふうに考えております。

それから、どれくらいの目標かということなんですが、目標につきましては今集計をしているところで、外国人さんなんか来られているので年間2,000人ぐらいは市の中にありますお店に来られているようなケースがございます。これをもっとふやしていきたいなというところで考えております。具体的にという、まだ数字的なものが示せるようなものがございません。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長、その目標を定めるような計画、その存在があるのかなのかということの補足説明をお願いしたいのと、あとインバウンド効果というものについてのお尋ねもあったんですが、こちら辺についての御説明もあわせていただけますか。

現在までのインバウンド効果ですね。そういうようなその測定を行ったか行ってないのかということもあわせてお答えいただいたらわかりやすいんじゃないかなと思うんですが。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 計画のほうは、今のところきっちり定めたようなものはございません。

それから、インバウンド効果なんですが、英国庭園なんかで周辺の農産物直売所へお越しいただいたような外国人の方の調査を行いました。その中では、約250人程度、年間訪れられているというふうに記憶をしております。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。なかなか段取りができてないというのはよくわかってんですけど、いろいろ考えてお願いをしたいのと、要は看板等がないと来られても動

けないと。

それで、前説明をここでされたときには関西空港へ来てそこからレンタカーを借りてここを観光するんだというのを部長のほうが説明をされたのを記憶してるんですが、そこでの話の中ではその数っていうのはそう大したことはなかったというふうに聞きました。それは、だから違ってたんじゃないのかなと、今までの認識が。だから、それについては、本当にインバウンドのことを考えるのであれば、そこら辺をもう一遍軌道修正をしてもらわないとできないのと、赤磐市でそういうものの受け入れをやっているのは、発信してるのは実際には1者しかない、この近辺に1者しかないということしか言われてないのは、実際には何の取り組みもできてないという形だろうと思うので、せつかくこうやって大きくやっておられるのであればもう少しいろんな面で計画をして、新年度予算に反映されてるのかどうかわかりませんが、反映されてなければ前へ進んでいくことができないというわけですから、そこら辺のところは新年度予算が出たら見せていただければわかるんじゃないかなと思います。インバウンドに頼るためには、今のコロナウイルスということになってくれば計画旗上げしてもなかなか難しいのかなとは思いますが、でもやらなければ前へ進まないのもう少しいろんな面を考えて出していただくと、それから看板を出していくと、そういうふうなことをお願いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 金谷委員の御意見を参考に取り組みでまいりたいと思います。

以上です。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

そのほか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私もインバウンドセミナーについてお伺いいたします。

今回来られた37名というのはどんな方が来られたんでしょうか。その確認をお願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 参加者の内容でございますが、農業者の方それから学校関係それからあとは事業者の方とそれからあとは銀行の方も来ていただいているような状況になっております。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 観光振興という形でいえば地域活性化のための非常に重要な取り組みだと思うんです。先ほど金谷委員が言われたように、その上で非常に厳しい状況もあるんだろうと思うんです。昨年の10連休、インバウンドだけじゃなしに観光振興を国内も含めていけば、昨年10連休のときのデータが新聞に出てましたけども、赤磐は軒並み50%、30%前年アップの中でここであればドイツの森は4.9%アップという非常に低い状況もある。そういったことを鑑みたら、非常に厳しい状況もあるんだろうと思うんですけども、積極的に観光振興、さきに言いましたように地域活性化のためにはやっていかなきゃいけないんだろうと思うんですけども、今課長も言われたようにやっぱりSNSの活用が大きな課題だと思うんですけども、先ほど金谷委員の御質問でウェブサイトにも力を入れるというようなお話もありましたけど、もう少し具体的にこのSNSの活用についてどのようにお考えなのか、お伺いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） インバウンドの関係でSNSの活用という御質問の内容だったと思います。台湾、香港向け訪日観光情報メディア、ラーチャーゴー日本という、今回のインバウンドセミナーの講師もしていただいたんですが、そちらのほうで台湾、韓国向けの赤磐市の情報発信のウェブサイトのほうを作成していただくというようなところで情報発信を考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 少し前にテレビでやってましたけれども、インバウンドも含めた観光振興全体でいえばやっぱりSNSの活用というのは重要で、僕も一般質問のときにちょっと提案はさせていただいたんですけども、例えばドイツの森であるとか熊山英国庭園であるとかそういうところに外国人の方が来られたとき、外国人を含めた観光客が来られたときに、そこでSNSを使って発信をしてくれたら例えば割引をするとか記念品を差し上げるとか、そういった取り組みも先進的事例でしょうけどもテレビでは相当効果があったとこういうふうな発言もありましたし、少し検討してみるべき課題ではないかと思うんです。一度一般質問で取り上げてさせていただいたんですけども、基本的にはスルーされてるんだろうと思うんですけど、その辺はどうお考えでしょうか。要は、SNSを活用して先進的にやっていくべきではないかということなんですけども。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員御指摘のとおり、SNSの活用というのは非常に観光振

興にとって重要な施策であると考えております。本市の場合、片鉄ロマン街道、こちらのモニターツアーを実施した際に、そのモニターツアーの参加者がサイクリングをする際に、また赤磐市内の観光施設をめぐっていただく際にSNSの活用をしていただいて、そのイベント当日にそういうものを上げていただくんですけども、そのフォローの数によって賞品を上げるというような取り組みもこれまでしております。やはり若者向けの情報ということでSNSの効力というのは非常に大きなものがございまして、昨今でもこの執行した取り組みの影響を受けまして、片鉄沿線のほうにはサイクリストの多くの方に足を運んでいただいているような状況でございます。それぞれのイベントを通じまして、全てがこうした取り組みができるかといいますとなかなか難しいところがありますけども、機会を見てそうした取り組みを今後とも進めてまいりたいと考えております。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私もツイッターをちょっと前から始めてるんですけども、そのときに基本はいいねがほとんどゼロなんですけども、たまたま昨年でしたか、タイと岡山シーガルズの練習試合のことをちょっと載せましたら異常にいいねがつきまして、恐らくタイの方がいいねを押されたんだろうと思うんです。通常出せばほとんどゼロか1か2ぐらいしかいいねがつかないんで、そのときには100以上いいねがつかしました。少し載せただけですよ、タイ王国のバレエ部が来られましたみたいな形を載せただけで。そういったことを考えたら、インバウンドに対しては非常にSNSは効果があると思うんで、ぜひやっていただきたいと思います。御答弁はいいです。よろしく願いいたします。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかございますでしょうか。

大丈夫でしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） 質疑がないようですので、これで産業振興部のほうは終わりたいと思います。

続きまして、建設事業部のほうの御説明をいただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、建設事業部より事業の進捗状況につきまして担当課長のほうより説明をさせていただきます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課の事業の進捗状況について説明をさせていただきます。

建設事業部資料の4ページをお願いいたします。

事業の進捗について。

(1) 市道岩田長尾線改良事業の進捗についてでございます。

市道岩田長尾線の改良事業につきましては、現在用地買収を進めており、現在のところ28件に対しまして24件が契約に至っております。建物の補償につきましては、自動車工場の移転先のみが立ったと聞いておりまして、現在具体的な補償の交渉を続けているところでございます。また、並行して用地買収ができたところから改良工事に着手しており、施工範囲と現況の写真を4ページに記載しており、赤で着色している部分が今回の施工部分となっておりますので、御確認ください。

続きまして、(2) PCBの含有塗膜調査についてでございます。

市道橋梁の塗膜にPCBが含まれていないかの調査を実施しておりまして、現在報告書の取りまとめをしております。PCBの含有濃度の速報値が届いております。結果は、いずれも基準値を下回っており、高濃度PCB、低濃度PCBともに該当はありませんでしたので、報告をさせていただきます。

以上で建設課の進捗状況についての説明を終わります。

○委員長（佐々木雄司君） 建設事業部の説明が終わりました。

ただいまの建設課関係で御質疑がございましたら、委員の皆さん、よろしく願いいたします。

福圓課長、今市道岩田長尾線の御説明を一通りいただいたんですが、このところに関しましては都市計画の変更等々のお話も以前からあったように思います。そこら辺の兼ね合いも御説明を皆さんにさせていただくと事業の進捗がわかりやすいんじゃないかなというふうに思うんですけども。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 菊地地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） それでは、この新拠点についての進捗状況ということで、今建設課長のほうから説明がございました新拠点での整備の実施の見通しを確実にするために、今現在市道岩田長尾線の整備を最優先で進めていただいております。新拠点の整備につきましては、昨年の6月末に赤磐市都市計画マスタープランの改定をさせていただきます、河本、岩田地区周辺を中心市街地として交通結節点を含む新たな都市拠点を整備することとしております。現在、新拠点について、新たな市街化区域への編入等の検討を行うに当たり、導入すべき機能及びその規模や配置等についていろいろな今整理を行っております。その整理を行いながら、さまざまな規制がある厳しい中ですが県などの関係機関と今協議を進めているところでございますが、まだ皆様にお示しできるような段階にはなっておりません。なるべく早目に皆さんにお示しできるように整備が進んでいくように取り組んでいきたいと思っておりますので、また皆さんにお示しできるようになった段階でまたお示ししたいと考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 改めまして、委員の皆さん方で質疑がございましたらよろしくお願ひいたします。

保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） PCBのこの検査をしたところについて、その橋梁やこうは塗りかえの工事とかというのはこれから入っていくんですか、それは検査だけで特別関係ないことなのか、お聞きします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今回4橋の橋梁を調査しております。その4橋ともにPCBは検出されませんでしたので、このPCBの関係で塗りかえをするということはありません。全ての市道橋梁については5年サイクルで確実に1度は点検をすることになっておりますので、その点検結果をもとに塗りかえが必要と判断された橋梁については順次塗りかえを計画していく予定でございます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 現在はほんなら早急にやらにゃならんもんはないということよろしいんでしょうか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 現在のところ、この4橋については塗りかえの必要はないという判断をしております。

以上です。

○副委員長（保田 守君） わかりました。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか委員さんのほうでございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで質疑を終わりたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） 質疑を終わります。

続きまして、2番目、その他の項目に入らせていただきたいと思います。

まず、令和2年3月議会提出予定議案について産業振興部から御説明をいただきたいと思ひます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部の資料をごらんいただきたいと思いますが、
れども、2ページでございます。

2、その他でございますが、3月議会提出予定議案について御説明をいたします。

まず、(1)令和元年度一般会計補正予算（第5号）の①でございますけれども、過疎対策事業債の松くい虫等防除事業で20万円の増額を計上しております。それから、②歳入ですが、東備農業共済事務組合の返還金がございます。これで707万7,000円の増額。それから、③番、歳出で特定目的の基金積立金で、これは森林環境譲与税の基金積立金で107万3,000円を計上しております。それから、④番は、山方研修センターの整備事業の予算でございます。これは、繰り越しを予定しております。

続きまして、(2)赤磐市森林環境譲与税基金条例の制定についてでございます。

この森林環境譲与税は、人口、林業就業者数、私有林人工林面積等から算出しまして国から市に対して配分されまして、必要な森林の整備に関する施策等に充てられるもので、一定額を基金として積み立てることとしております。新たな税負担となる森林環境税につきましては、2024年度から徴収されることとなっております。国民から1人当たり年間1,000円を課し、市が個人住民税とあわせて徴収することとされております。

関連の資料としましては、4ページと5ページに制度について概要とそれから各流れですね、これをお示ししておりますので、御参照いただきたいと思っております。

5ページをごらんください。4ページには文字が多いんですけども、5ページのほうで金の流れがざっとわかると思っております。

まず、右のほうを見ていただきたいんですけども、実は平成31年度から国からはお金がもうおりにきております。これはなぜかと申しますと、この環境譲与税を使うに当たりましては森林のことをいろいろ調査したりとか事前の準備がございますので、実際には31年度から国からお金が参ります。これは、地方譲与税として市町村に交付されます。市町村はどういったことに使うかという、間伐や人材育成、担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発等を今後行ってまいるといことでございますけれども、今年度につきましてはその準備をやっております。これのもと根本の考え方というのは公益的機能の発揮ということで、地球温暖化の防止機能それから災害防止や国土保全機能、水源涵養機能等が上げられております。

それで、左のほうですけれども、国民からそれじゃあ1,000円をどのように取るのかということですが、今現在の調査では納税義務者の方が国内に約6,200万人おられます。ちなみに赤磐市においては現在のところだと2万4,000人が該当します。市町村から都道府県を通りまして国のほうにこのお金が行くということで、それを国としては森林環境譲与税として交付を行うということになっております。説明が簡単ですけれども、このような流れでございます。

それから、次に参ります。

(3)でございます。令和2年度実施予定の主な事業について御説明いたします。

①一般会計になります。

農作物鳥獣被害防止対策事業は、農作物の被害低減のための電気柵やワイヤーメッシュ等の防護柵の設置でございます。防護柵の設置、鳥獣被害防止対策協議会への補助金等、予算要求額は951万1,000円、過去3年間の事業実績をもとに積算しまして、対前年で7.5%増としております。

次に、農地集積促進事業ですが、農地中間管理機構を通じての農地集積でございます。農地の貸し手などへの交付金等、予算要求額は2,020万円、本年度事業実績見込みをもとに積算しまして、対前年28.3%増としております。

それから、3ページでございます。

日本型直接支払事業は、農地、農村の保全を図るための事業でございます。集落ぐるみで取り組む多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払の交付金等、予算要求額は1億682万8,000円、本年度事業実績見込みをもとに積算しまして、対前年1.7%減としております。

次に、果樹生産振興事業は、桃、ぶどう等の生産拡大や品質向上を図るための事業でございます。施設や農業用機械等の導入に対する補助金等、予算要求額は3,884万円、農業者等の事業要望をもとに積算しまして、対前年112.6%増としております。

それから、次の地域おこし協力隊事業は、地域おこしの隊員の活動により地域の活性化や産業振興を図るための事業でございます。現在活動中の隊員1名それから新たに募集している隊員4名、計5名の隊員の活動に要する経費2,033万4,000円を予算要求しております。令和2年度の活動隊員は2名減となることから、予算要求額は対前年28.2%減となっております。

次に、有害鳥獣駆除事業は、防護柵の設置とあわせて農作物の被害低減を目的とした事業でございます。有害鳥獣の捕獲活動や新規狩猟者免許の取得支援のための補助金等、予算要求額は2,554万2,000円、過去3年の事業実績をもとに積算しまして、対前年6.7%減としております。

次に、松くい虫等防除事業は、森林資源の保護と森林機能の発揮を図るために、薬剤の空中散布や伐倒等、松くい虫の計画的な駆除の実施によりましてその蔓延を防止するものでございます。本年度事業実績をもとに積算しまして、対前年1.7%増としております。

それから最後に、②の財産区特別会計では、財産区が所有する土地それから立ち木等の財産の管理を行うための経費2,624万6,000円を予算要求しております。対前年で133.8%増となっております。

農林課のほうは以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課のほうから御説明をいたします。
産業振興部資料7ページをお願いいたします。

2、その他。3月議会提出予定議案についてでございます。

(1)令和元年度一般会計補正予算（第5号）についてでございます。

まず、企業誘致関連事業で企業誘致奨励金につきましては決算見込みにより3,221万円の減額及び宅地等開発事業特別会計繰出金、こちらが繰上償還による決算見込みによりまして1,261万円の減額を予定しております。

続きまして、(2)令和2年度実施予定の主な事業でございます。

まず、①一般会計でございます。

企業誘致関連事業で、予算要求額5,852万円でございます。これは、企業誘致の促進、奨励金の交付など立地支援や工業団地の維持管理に関する経費でございます。また、宅地等開発事業特別会計への繰出金が繰上償還によりまして皆減となりましたので、元金利子などの支出が減っております。そういったことで、前年対比23.9%の減となっております。

続きまして、資料の8ページのほうをお願いいたします。

次に、商工振興対策事業では、予算要求額3,548万2,000円でございます。これは、赤磐商工会が行う小規模事業者への経営改善などの補助金交付や中小企業などの補助金や利子補給、創業支援、就職支援などの事業費で、前年比19.5%の増となっております。

次に、施設維持管理事業でございます。予算要求額5,724万5,000円でございます。これは、山陽産業会館のほか、市内観光施設の維持管理を行うための経費を計上しております。修繕工事設計委託料などの減によりまして、前年対比14.5%の減となっております。

次に、観光振興対策事業でございます。予算要求額2,660万5,000円でございます。これにつきましては、各種イベントの補助金や市内外での観光PRを展開する事業で、広告費、イベント委託料などの減によりまして前年対比11.2%の減となっております。

次に、地域おこし協力隊事業でございます。予算要求額は、1,199万9,000円でございます。これは、地域おこし協力隊員、現在1名それから新規の募集2名分を予算計上しております。観光を中心に地域の活性化を図るための事業でございまして、対前年比1,000円の減となっております。

次に、吉井川流域広域観光連携事業1,230万円でございます。これは、一般社団法人吉井川流域DMOへ運営活動支援や訪日外国人へのマーケットニーズ調査・周遊ルートの開発、国内外に向けたプロモーションなどの事業でございまして、前年比28.9%の減となっております。

最後に、②竜天オートキャンプ場特別会計についてでございます。

予算要求額が1,821万5,000円でございます。こちらのほうは、竜天オートキャンプ場に係る維持管理費や運営経費でございます。会計年度任用職員制度に移行したことによる人件費の増

などで、前年比19.2%の増となっております。

商工観光課からは以上です。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

ただいま御説明いただきました産業振興部、先ほどに続きまして課ごとに質疑を受けたいと思います。

委員さんのほうでまず農林課関係で御質疑ございましたら、よろしくお願ひいたします。

ございませんでしょうか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） お願いなんですけども、農林課も商工のほうも地域おこし協力隊事業で複数名の募集、現在活動したり募集している予算を計上されてますけども、できたら次にこの一覧表で目的とかそういうのを資料として出していただいたらありがたいなと思うんですけど、どんなでしょうか。

○委員長（佐々木雄司君） 原課のほうでそういう資料の用意はできそうですか。

じゃあ、済みません、求めたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

そのほかございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、次の商工観光課のほうに行かせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） じゃあ、これで農林課のほうの質疑は終わりたいと思います。

続きまして、商工観光課関係で御質疑がございましたら、委員の皆さん、よろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。ちょっと時間をとりますよ。大丈夫ですか。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで産業振興部関係のその他の質疑は終わりたいと思います。

続きまして、建設事業部、その他の項目の御説明がありましたら、よろしくお願ひいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課のその他を説明させていただきます。

2、その他。(1) 3月議会提出予定議案についてでございます。

建設事業部資料の1ページ、2ページをお願いします。

令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）につきまして説明します。

農地費及び土木総務費としまして、事業の追加割り当てがあったことにより、負担金の増額を予定しております。また、農地費、林業総務費、林業振興費、土木総務費、道路維持費、道路新設改良費、河川総務費、都市計画費、住宅管理費として、決算見込みによりそれぞれ減額を予定しております。

続きまして、令和元年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第2号）につきまして、2ページをお願いいたします。

一般管理費元金利子としまして決算見込みにより減額、予備費として決算見込みにより増額を予定しております。

続きまして、繰越明許につきまして、2ページをお願いします。

農業費として小規模土地改良事業で998万円、小規模ため池補強事業で2,128万8,000円、道路橋梁費として道路維持管理事業で400万円、道路改良事業で9,476万4,000円、都市計画費として一般管理費で1億448万6,000円の繰り越しを見込んでおります。主な繰り越しの理由は、工事施工の隣接者との境界確認に不測の日数を要したこと、交通規制で隣接地区及び町内会との協議に不測の日数を要したこと、用地補償が伴う工事で権利者との交渉に不測の日数を要したことなどによるものであります。

続きまして、令和2年度赤磐市一般会計予算につきまして、詳細が資料の5ページとなりますので、お願いいたします。こちらのほうへ詳細なものを記載しております。

令和2年度の建設課全体の予算としましては、トータルで前年度から約9.5%の増となっておりますが、一般財源ベースでいいますと約15%の減となっております。詳細については、この資料を後ほど御確認をお願いいたします。

続きまして、令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計につきまして、資料の2ページをお願いいたします。

分譲宅地に係る一般管理費として107万1,000円、分譲宅地に係る維持管理費として128万4,000円の予算を計上させていただいております。

続きまして、赤磐市営住宅条例の一部を改正する条例について及び赤磐市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例についてです。

資料は3ページをお願いします。

この条例改正は、民法の改正に伴いまして、住宅に困窮する低額所得者への住宅供給を円滑化するため、入居時に必要であった連帯保証人及び敷金の規定を廃止するというものとなっております。

続きまして、田原用水組規約の変更について、資料の3ページをお願いします。

この規約変更は、田原用水組合事務所を岡山市東区瀬戸支所から赤磐市熊山支所へ移転する

ものです。移転の理由は、瀬戸支所の耐震改修工事によりまして、事務所の場所の確保ができなくなることによるものであります。

続きまして、市道路線の認定について、資料の6ページ、7ページをお願いいたします。

今回の認定路線につきましては、赤磐市下市地内の開発団地内道路で開発団地の維持管理に関する覚書に明記された入居率を満たした路線と、赤磐市可真下地内の法定外道路で頂上に公共施設があり、地区からの要望を受けた路線の認定をお願いするものでございます。

以上を3月議会へ提出するように予定しております。

以上で建設課の説明を終わります。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、上下水道課について説明をさせていただきます。

建設事業部の8ページからお願いをいたします。

まず、1番といたしまして、3月議会提出予定議案についてであります。

令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）であります。

4款の衛生費、6款の農林水産業費、8款の土木費、それぞれに決算見込みによる減を予定をいたしております。

次に、令和元年度の赤磐市下水道事業特別会計補正予算の第2号についてであります。

歳入歳出の総額を20億8,478万7,000円から20億4,115万円にする予定にいたしております。主な理由といたしましては、実績見込みによる減と国庫補助事業における追加内示を受けたことによる増の差し引きであります。個別の内容につきましては、資料のとおりでございます。

次に、9ページをお願いいたします。

繰越明許費であります。

下水道事業の特別会計で公共下水道費で2億7,790万円、特環公共下水道費で2,200万円をそれぞれ繰り越す予定にいたしております。主な理由といたしましては、近接する工事間で日常生活への支障を最小限とするべく各工事間で工程を調整したことにより、繰越延期となるものでございます。

続きまして、令和2年度の赤磐市一般会計予算についてであります。

資料のほうは、10ページをお願いいたします。

まず、上下水道課所管の一般会計分であります。4款の衛生費、清掃費、浄化槽設置に係る補助金、上水道費につきましては、水道事業への繰出金であります。農林水産業費、土木費につきましても、それぞれ下水道会計への繰出金のほうを予定をいたしております。

続きまして、資料の11ページをお願いいたします。

令和2年度の赤磐市水道事業会計予算であります。

まず、給水戸数が1万8,196戸、前年度までの伸び率を踏まえまして5.9%の増で、年間の総

給水量を480万4,889立米で3%の増といたしております。収益的支出と資本的支出の合計14億4,009万3,000円、対前年度比で1.1%の減となっております。

続きまして、12ページ、令和2年度の赤磐市下水道事業会計予算についてであります。

令和2年度から、下水道事業につきましては従来の官庁会計の特別会計から企業会計の手法での予算編成に変更いたしております。概要につきましては、接続戸数のほうが1万3,456戸、これは対前年で0.3%の増、年間の総排水量につきましては298万6,700立方メートルとなっております。収益的支出、資本的支出、それぞれの合計でいきますと、31億4,627万2,000円となっております。これは、会計手法が違うため一概に前年度との比較はできませんが、仮にこれを従来の手法に置きかえたとするならば、約4%の減で19億8,644万9,000円程度になるものでございます。

続きまして、資料の13ページ、14ページをお願いいたします。

皆様方も御承知のことでございます。熊山地域で1月23日に発生をいたしました断水についての経過の報告をさせていただきます。

○委員長（佐々木雄司君） 部長、済みません。この部分につきましては、後ほどまた御説明をいただきたいと思っております。分けさせていただきます。

菊地地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） それでは、15ページをごらんください。

地域整備推進室よりその他の3月議会提出予定議案について説明させていただきます。

15ページでございますように、令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）につきましては決算見込みによる減額を予定しております。

それから、ページが大分戻って申しわけないんですが、5ページをごらんください。

続きまして、令和2年度赤磐市一般会計予算について説明させていただきます。

建設課と一緒にしておりますが、一番下の枠のところに地域整備推進室の所管の事業について令和2年度の当初予算案を載せております。ごらんいただければと思います。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 建設事業部の説明がただいま終わりました。

課ごとに質疑のほう受けたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

まず、建設課所管部分につきましてはの御質疑がございましたら、委員の皆さん、よろしく願いいたします。建設事業部所管部分です。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、次、上下水道課に行かせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） 質疑がないようですので、上下水道課の質疑に移りたいと思います。

所管部分で委員の皆様方のほうで御質疑がございましたら、よろしくお願ひいたします。
よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、地域整備推進室に行かせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。もう少しお待ちしたほうがいいですか。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） 10ページのところの衛生費の上下水道費の中で企業団の水道会計のところで、前年に比べてかなりの金額がアップしとるところについての説明を簡単にお願ひします。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） これにつきましては、岡山県広域水道企業団が現在施設の改修、長寿命化計画を行っております。こういった関係で本市の負担分がふえたという説明を受けております。

以上です。

○委員（金谷文則君） ありがとう。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか委員さんのほうでございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、地域整備推進室に行かせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） じゃあ続きまして、地域整備推進室の質疑に移りたいと思います。

委員さんのほうでございましたら、よろしくお願ひいたします。

○副委員長（保田 守君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 6丁目の県営住宅の解体費用ということで出されとるんですけど、都市拠点等の計画策定という部分まで入とんですけど、これはそういうもの設計料とかというもんが入っての金額になるんでしょうか。それとも、これから具体的にいろいろ会合を設けて決めていくのに必要な金額とかというようなことでここへ出されとるんでしょうか。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 菊地整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 5ページをごらんください。前年度が2,200万円程度だ

ったのが、来年度、令和2年度要求では5,300万円となっております。2.4倍ぐらい増になっております。先ほどおっしゃられた新拠点や大規模団地とかのその辺の整備計画策定については、ほぼほぼ元年度と同じぐらい上がっておりますが、これの大きく増になってる部分につきましては山陽団地の6丁目の県営住宅の解体費用がふえてるというものになっております。

以上です。

○副委員長（保田 守君） わかりました。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか何かございますでしょうか。

行本委員。

○委員（行本恭庸君） 解体費用はこの中で幾らあるんですか。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 菊地地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 6丁目の県営住宅の解体費用といたしまして、予算では2,730万円程度計上しております。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） そのうち国庫の支出金は何ぼあるんですか。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 菊地地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 6丁目に関しての補助金はありません。一般財源のみです。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかございますでしょうか。

いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、ちょっと休憩をとりたいと、あともうちょっとなんですが休憩をとりたいと思います。

11時15分に再開いたします。

午前11時6分 休憩

午前11時15分 再開

○委員長（佐々木雄司君） 再開いたします。

続きまして、その他の項目で建設事業部、よろしくをお願いします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、上下水道課のほうから報告をさせていただきます。

資料の13ページ、14ページをお願いいたします。

熊山地域で1月23日に発生をいたしました断水についての経過の報告をさせていただきます。

復旧までの時系列につきましては、資料の14ページのとおりであります。

まず、1月23日木曜日の朝8時ごろでございました。小野田地域にお住まいの住民の方から水道が出ないとの一報が入りました。それと同時に複数のエリアの方から数多くの同様の連絡を受けたところであります。これにより職員が直ちに現地の確認をしたところ、吉原地内の水源地の井戸の水位が低下し、それぞれの配水池への送水がストップし、朝の需要が高い時間帯と重複したことから急激に水位が下がったというものでございました。赤磐市といたしましては、直ちに給水が必要な御家庭、事業所へ飲料水としてこちらにございます給水パックを配布すると同時に、また不測の事態に備え以前より岡山県広域水道企業団からの送水ができるよう配管を行っていたことから、その供給を開始すると同時に、市長をトップに部長級の職員により対策本部を立ち上げ、学校、消防、保育園、医療施設などの水事業の情報収集を行い、断水がなされている地域の区長と連携し、給水所を5カ所設置いたしました。これらの対応により、同日の夕方6時ごろ、18時ごろから徐々に断水範囲は縮小し、1月24日朝8時には断水が解消されたものでございます。

断水が確認された地区は、資料の13ページにございます。殿谷、沢原の配水池より上流部分の佐古、殿谷、グリーンタウン、岡そして沢原の一部と推測をしております。

今後の市の対応といたしましては、水道水の安定供給を目指し、現在の水源地の揚水量の把握を、そして底板の洗浄、水位の観測計の設置、これらを至急進める必要があると認識をしております。今年度の執行残を充当しながら進めていきたいと現在考えております。また、これらの調査の結果を踏まえ、安定供給に向けた水源の確保の検討なども進めていかなければならないと認識をいたしております。

以上であります。

○委員長（佐々木雄司君） 建設事業部の断水についての説明が終わりました。

この件につきまして委員さんのほうから御質問ございましたら、よろしくをお願いいたします。

行本委員。

○委員（行本恭庸君） 私も記憶がないんじゃないけど、前の大和の井戸があったな、満洲井戸、あれは何の、工業団地の絡みであそこを使わんようにしたと思うんじゃないけど、その後どういう状況なのか、そこら辺がわかりますか。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 現在も、釣井の井戸につきましては休止をしている状態でございます。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 休止しとんのは私も知っとんですが、あそこは例えば水質の調査とかそういうものはやってないんでしょうかね。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 水質につきましては、不測の事態を想定して定期的に水質調査は行っております。特に支障となるようなことは確認をされておりません。施設につきましては、10年以上使っていないので、ちょっと誤作動、不作動などの状況にも陥る状態でございます。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 新しく井戸を掘るのも結構ですが、あそこはもう使わんのんでしたら新しい井戸をつくらにゃいけんわけで、不測の事態の対応をするためにはね。それをするかそれとも高い井戸水を使うかどっちがええかという話になるし。ただ、今の和分の分で使うた釣井にある井戸も使わんのんならあそこも解体してしもうて何かほかのものに使うようなことにすれば、目的が、使う予定がねんじゃったら、最初のをとめた時点からないんならあそこを解体して何かに使う、最初の話ではあそこへ造成すりゃあええような話もあったような気がするんじゃけど、そういうことは進展してないんですけど、あそこの位置へ、隣の我々がグラウンド・ゴルフしとる市の土地なんかがあつて、あそこは観測所もあるんですけど、あそこらと一体になって少しでも、工業団地のすぐへりではあるし、ああいうところを利用すれば工業団地としても使えるし、あのままの状態ですつとほつとくというのはどんなんかな、市長、考え方、あそこの用地を使う今後の計画について。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 今の御指摘の釣井の水源なんですけども、経過がかなり古い時代からございます。その経過も踏まえる必要はあろうかと思えます。とはいいいながら、赤磐市にとっては貴重な水源、貴重な財産です。できることなら、再開をして給水をするということを模索していきたいという考えではあります。いずれにしても、かつての経過の中で再開には課題はあるものと認識はしているところでございます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） あれは、工業団地が、どこができたときだったかな、NTNかな、ができるときか何かにあそこは水源に近いしということで何かとめたような気がするんですけど、その後の経過が何もなければならその今言われたようにあれを使うようにせんと、かなりの水量も持つとるし。じゃから、そこらを調査したほうがええんじゃないかなあ、使えるもんなら。じゃから、最初は何かあそこをするときにいろんな有毒なもんが入っちゃいけないということでとめたというのが一番の原因だったというのはわかるんですけど、その後10年と言われたんかな、今、10年もたって何もないようなのであればほとんど落ちつくとるんじゃないかという気もするんで、そっちの方向を考えたほうがええと思うんですけど、どうでしょうか。

○委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） すばらしい提案だと思います。経過もありますから手放しでそっちに向かうということには相なりませんけども、可能性をできる限り追求していきたい、これは非常に重要なことだと思います。ありがとうございます。

○委員長（佐々木雄司君） いいですか。

そのほかございますでしょうか。

よろしいですか。その給水のパックが単価幾らぐらいするのかとかそんなのはいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） それでは、ないようですので、この断水の件につきましての質疑はこれで終わりたいと思います。

そのほか執行部のほうから何かありますでしょうか。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） それでは、本日お配りしておりますA4、1枚の資料をごらんください。右肩のほうに別紙と書いたものでございます。表題のほうは、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）へのパブリックコメントの実施についてお知らせがございました。

赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、東京圏への人口の一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある地域社会を維持することを目的として、平成27年に策定しております。この計画は、5年間の計画であるため、新たに第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するために現在あかいわ創生有識者会議を組織し、国において12月に策定された第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえながら平成27年から5年間で取り組んだ施策の検証などを行い、策定に向けて会議を開催しております。その審議経過につきましては、別紙の2のほう、中段になりますけども、こちらをごらんいただき

たいと思います。

続きまして、3番目、下のほうになりますけれども、今後のスケジュールをごらんください。

素案に対するパブリックコメントは、予定どおり2月14日から3月4日の期間で実施いたします。その後、寄せられた御意見を考慮の上、3月12日に開催を予定しておりますあかいわ創生有識者会議で戦略案について御検討いただきまして、その後あかいわ創生推進本部会議で創生総合戦略を策定することとなります。素案のパブリックコメントを開始しましたら、議員の皆様には議会事務局にて閲覧できるようにしておきますので、ぜひこの素案をごらんいただければと考えております。また、意見書もあわせて議会事務局に配置しておきますので、御意見がございましたらお手数ですが御記入いただきまして、3月4日までに政策推進課に御提出をお願いいたします。素案の閲覧場所は、政策推進課、各支所、市民生活課、ホームページでも可能となっております。

以上、簡単でございますが、説明を終わらせていただきます。

○委員長（佐々木雄司君） 有馬部長、これは総合政策部の分のお知らせとして今御紹介をいただいたということですのでよろしいんですね。

○産業振興部長（有馬唯常君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） ということですから、よろしく願いいたします。

委員さんのほうからそのほか何かありますでしょうか。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで本日の委員会は閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、川島副市長より御挨拶をいただきたいと思えます。

○副市長（川島明昌君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 川島副市長。

○副市長（川島明昌君） 本日は、お忙しい中、第2回産業建設常任委員会を開催いただき、ありがとうございました。

本日の説明は、事業の進捗状況それから令和2年3月議会への提出予定議案について説明させていただきました。本日いただきました御意見につきましては、事業執行に当たって検討してまいりたいと思えますので、よろしく願いいたします。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございました。

皆様方には、本日、お忙しい中、大変お疲れさまでございました。

これで本日の産業建設常任委員会を閉会したいと思います。

午前11時29分 閉会